

連携通信

平成24年10月5日発行
平成24年第7号
中高連携連絡協議会

今年の夏も、さまざまな中高連携行事が行われ、多くの中高生が積極的に参加してくれました。

中高連携事業①

カイクは地球を救う

8月1日(水)、今年で4回目になる「カイクは地球を救う」が厚木市船子の東京農業大学で行われました。この企画は、中高生が最先端の研究を行っている大学の研究室で実験・実習をしながら交流を深めるもので、今年は中学生37名、高校生10名が参加しました。

講師は東京農業大学農学部昆虫学研究室の長島孝行教授です。講義では、日本はカイクで豊かになったこと、100万種ある昆虫を研究に利用して最先端の科学技術を開発していることなどを、身近な昆虫や動植物を例に挙げながら話して下さいました。



その後は、研究室内の協力者から、電子顕微鏡で実際に操作したり、シミュレーションを入れたり、お茶を淹れたり、味を調べたりしました。

参加した中学生からは、「いろいろな昆虫から技術を取り入れられていくのが驚いた。」「大学の皆さんの説明が、とてもわかりやすかった。」「今回の連携企画で理科について興味を持った。」「などの感想が寄せられました。

中高連携事業②

自分の町の水を調べよう

8月20日(月)、21日(火)の2日間、「中津川の水質分析と環境保全」をテーマとした連携事業が行われました。この企画は、愛川町の中高生が中津川の水のサンプリングやデータ分析を行い、環境保全についての深い理解を深めるものです。



1日目は、中津川へ行き、7つの班に分かれて水質調査を行いました。川の水を採取し、PHの測定や、捕まえた昆虫の調査を行いました。

2日目は、神奈川工科大学の実験室で水質調査を行いました。

参加した中学生からは、「2日間とても楽しく活動ができました。」「班のみんなと仲良く活動ができて、早く高校に行きたいと思いました。」「他の中学の友達と交流できて、とてもよかったです。」「楽しかったです。」「中津川の石の下などに、カニやカゲロウなどがいるのを見ることができて、とても面白かったです。」「などの感想が寄せられました。

中高連携事業③

身に負けるな！ 夏期講習

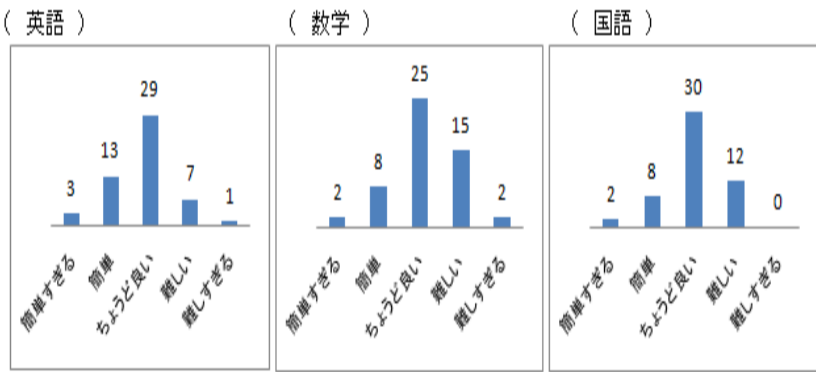
8月22日(火)～24日(木)の3日間、愛川高等学校会議室で夏期講習が行われ、町内3中学校から計56名の3年生が参加しました。

昨年度までは英語・数学の2教科で実施していましたが、中学校の要望を受け、今年度は国語を加えた3教科で行いました。落ち着いた中にも緊張感のある雰囲気の中で授業となりました。

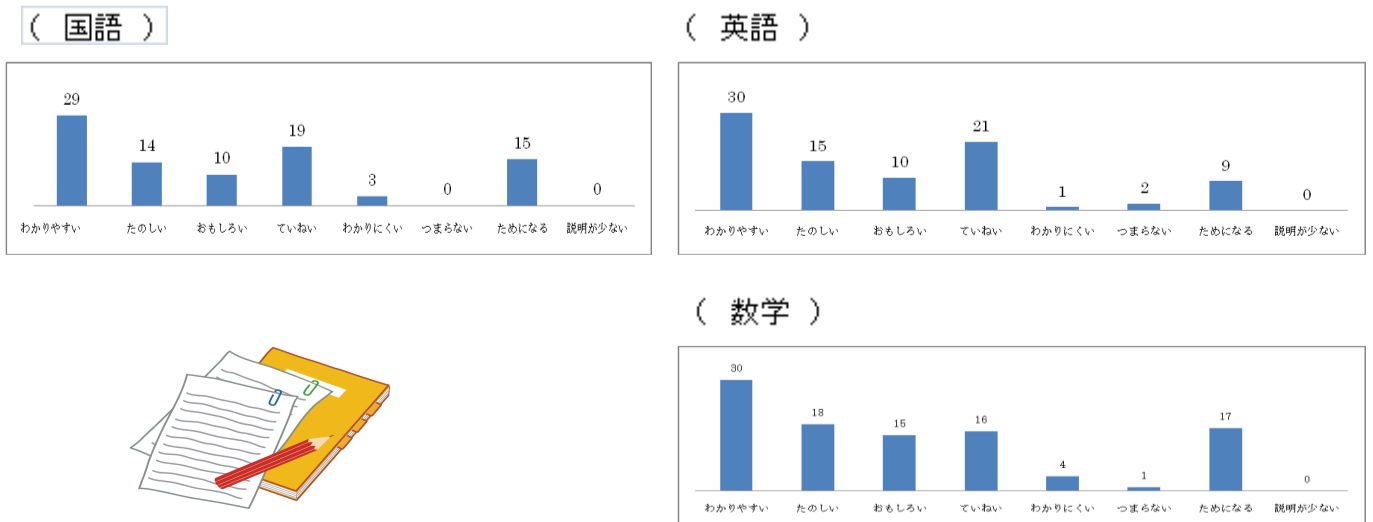
今年度の連携事業もこれで3回目というところで、異なる中学校の生徒同士が顔見知りになって、休憩時間には仲良く会話している様子も見られました。

アンケート結果を集計したものが後のグラフです。中学生にとってわかりやすい興味の内容の講習内容だったようです。

講習の内容はどうでしたか？



講師の授業や説明はどうでしたか？



連携事業の一環として、今年も夏期講習も、一回を重ねて、内容が充実したものが、中学生の充実を促す機会として、考えています。

中高人事交流報告会

4年前から愛川高校と愛川町立3中学校の教員は人事交流を実施しています。3年間、中学校の教員が高校で、高校の教員が中学校で教えるケース、毎週中学校あるいは高校に出かけ、TTTで授業の指導を行うケースがあります。人事交流報告会として、中学校で教えている教員が中学校の様子を報告してくれましたので、内容を要約してお伝えします。

愛川町立愛川中学校 上田 美実教諭(保健体育科)

愛川3中学校は5月27日(土)に体育大会が行われました。高校は一般的に「体育祭」ですが、中学校では「体育大会」です。そこに大きな違いがあります。高校の体育祭はやりたい人が中心となって盛り上げていくという印象が強いですが、中学校の体育大会の大きな目標は「集団づくり」としており、全生徒が自分の役割を持ち、ひとつの行事を作り上げていきます。3年生にとっては修学旅行と体育大会の準備が同時進行で、時間的なゆとりはなく、本当に大変なスケジュールでしたが、体育委員を中心に昼休みや放課後も練習を呼びかけ、体育大会成功のため一人ひとりが努力を積み重ねた成果が存分に発揮されたと感じます。1年生から3年生が縦割りやグループで、一致団結して競技や応援、運営に取り組みむことで異年齢集団に接するときの姿勢や態度を身につけさせ、下級生が次年度に生かせるような工夫・配慮を指導しています。また、選手選考においても道徳的な教育も含め、各学級で話し合いが行われました。愛川中学校は3中学校の中でも最も伝統のある学校で、今年度で66回目の体育大会を終えました。保護者の方をはじめ、地域の方、卒業生までもが、愛川中学校の子どもたちのために体育大会に大きなお力添えを下さいます。今年度は、新たな

にPTA種目として綱引きを設定しました。生徒の優勝チームとPTAチームの対戦を試みました。まさに在校生、教職員、保護者、卒業生、地域の方々が一つになった瞬間でした。66年もの歴史を誇る愛川中学校の体育大会に新たな1ページを刻むことができ、大変うれしく思います。この体育大会で築かれた強力なチームワークを今後の学校生活や教育活動に生かしていきたいと感じています。



愛川町立愛川中原中学校 五十嵐 勇介教諭(理科)

中学校に赴任して3年目になります。1年目は1年生の担任をさせていただきました。この1年は、自分の教員としての力のなさを痛感する日々でした。職場の先生方に絶えず声をかけていただいたことが、本当に支えになりました。2年目は特別支援学級の担任をさせていただきました。生徒と共に畑を耕し、ジャガイモやサツマイモを植え、収穫、そして調理といった楽しい思い出がいっぱいです。3年目の今年度は、1年生の担任をさせていただきます。この2年間の経験から、学級の人間関係が良好なことが学力向上の一助となることを学びました。そこで同僚の先生方のアドバイスを参考に、研修会を積極的に参加し、構成的グループワークの手法を取り入れた授業展開を意識するようになりまし



た。共に学び合うことができると、学級を目標に、心をこめて教壇に立ち、日々奮闘しています。

生徒の秋からの勉強法

中学校3年生の皆さんにとってはいよいよ本格的な受験勉強の時期がやって来ましたね。皆さんの先輩になる高1の連携生に、秋からの勉強法について聞いてみました。

答えてくれた先輩
岡本 瑠菜さん (愛川中原中学出身)
小倉 慧くん (愛川中学出身)
柳川 雄紀くん (愛川東中学出身)

秋以降、特に集中して勉強した教科は？
・苦手教科は全部やりました。
・英語と数学です。この2教科は今後大切なので、基礎基本をしっかり身につけることが必要だと思います。
・数学の計算問題を頑張りました。

勉強の仕方について工夫したことは？
・苦手教科を克服するため、ひたすら暗記しました。
・とにかく書いて覚えます。書きながら口に出してみるのもいいです。
・同じく、覚える時は声に出しながら書くようにしました。

学校説明会には行きましたか？
・2回行きました。あいさつが一番大事なので、はきはきと元気良くあいさつするようにしました。
・全部で5回。愛川高校は2回です。服装・態度に気をつけました。
・全部行きました！あいさつをしっかりとすることを心がけました。

面接練習はどのくらいしましたか？
面接練習はどのくらいしましたか？

12月頃から10回以上練習しました。11月頃からは友達や先生に手伝ってもらって、何回も繰り返し練習しました。とにかくたくさん練習しました！

この時期つらかったことや悩みは？
・複数の高校の中からどこを選ぶべきか迷いました。
・野球の練習時間が減ったこと、睡眠時間があまりなかったことです。

勉強に疲れた時のリフレッシュ方法は？
・時間を決めて好きなことをしました。
・自転車でサイクリング！
・好きな歌をリピートし、その歌詞を自分に言い聞かせるように元気を注入していました。

後輩へのメッセージをお願いします。
・あと少しです。進路、目標に向かって頑張ってください！
・頑張ってください！
・現在愛川高校は勉強にも部活動にも力を入れています。僕は今野球部に入っています。勉強とスポーツの両立をしよう。勉強とスポーツの両立をしよう。野球部員、マネージャー募集中です！

